

## 第3章

# 地域ごとの都市づくり (地域別構想)



富士山と芦ノ湖

## 第3章のポイント

本章では、都市づくりの将来像や全体構想を踏まえ、本町を構成する5地域について地域のあるべき将来像とそれを実現するための考え方をまとめています。

地域ごとに、現状と課題を捉えた上で将来像を掲げ、それに向けての具体的な施策を示しています。

### 第3章インデックス



山のホテルのつつじ

#### 1 地域別構想について

P53

湯本地域(湯本・湯本茶屋・須雲川・畑宿・塔之澤地区)

P54

温泉地域(大平台・宮ノ下・小涌谷地区)

P58

宮城野地域(宮城野・強羅・ニノ平地区)

P62

仙石原地域

P66

箱根地域(元箱根・箱根・芦之湯地区)

P70

# 1 地域別構想について



箱根登山電車

## 1 地域別構想にはどういった役割がありますか。

地域別構想は、都市づくりの将来像と全体構想における土地利用の方針や都市基盤施設の整備方針などを踏まえ、各地域がもつ固有の風土や歴史文化等の資源を生かし、地域のあるべき将来像を実現するための「みちしるべ」となるものです。

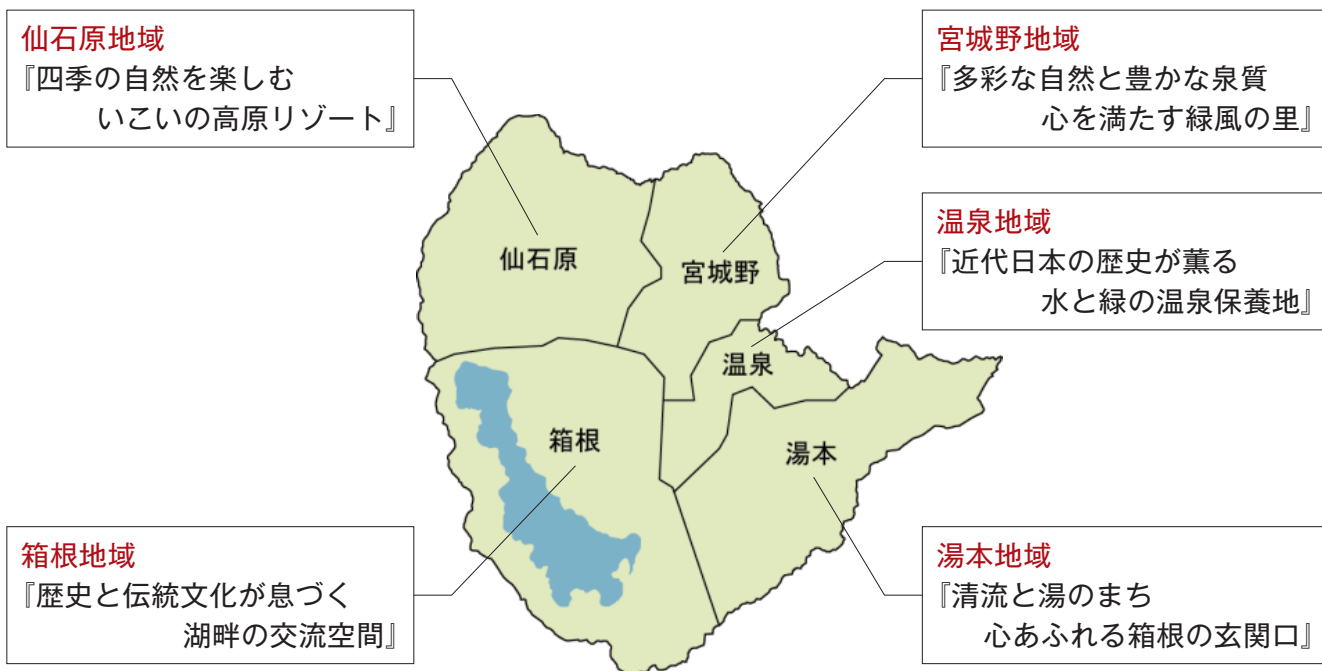
本構想の策定にあたっては、町民自らが地域ごとに特性を把握し、課題を抽出した上で、地域の将来像を描き、それらを町と共有して、協働で地域づくりを実践していく下地づくりに努めました。

## 2 地域づくりの考え方とはどういったものでしょう。

地域のあるべき将来像を実現していくためには、町が主体となって取り組む施策と、各地域において町民が主体となって取り組む施策の両面により相乗効果を発揮することが必要であると考えます。

そのため、地域づくりにおいては、町民と町の役割を明確にし、協働で取り組む体制を整えて、町民主体の地域づくりを推進していく必要があります。

### 各地域の将来像



# 湯本地域

- ・湯本
- ・湯本茶屋
- ・須雲川
- ・畑宿
- ・塔之澤 地区



## 湯本地域の将来の姿とはどういったものでしょう。

### 現 状

本地域は、首都圏と直結した箱根の東の玄関口として発展してきた地域であり、鉄道やバスなどの利便性が高く、交通ターミナル機能<sup>\*1</sup>を有する箱根湯本駅を中心に、土産物店などの商業施設や町役場等の業務施設が集積する本町の重要な拠点となっています。

市街地は、地域の中央部を流れる早川や須雲川沿いに延び、古くから温泉場として発展するとともに、早川親水護岸や湯坂路（鎌倉古道）など自然散策に適した地域を形成しています。

また、箱根旧街道沿いの畑宿地区においては、観光産業の一端を担う伝統工芸「箱根寄木細工」の工場が集積するなど、多彩な資源を有した地域となっています。

### 課 題

本町のみならず、県西都市圏域における地域拠点の一つとして、都市基盤施設の整備は着実に進んでいますが、箱根の玄関口としての役割や本来の観光地や温泉場としての特徴を生かしたより一層の都市づくりの充実を図る必要があります。

町に来訪する観光客数が概ね2,000万人を推移するなか、箱根湯本駅周辺における更なる交通安全の確保や災害時の避難誘導などのほか、増加する外国人観光客への対応が課題となっています。

また、生活利便性の高い良好な住居環境にも関わらず流出人口は少なくなく、地域の実情に応じた都市づくりが求められています。



箱根湯本駅

## 将来像

# 『清流と湯のまち 心あふれる箱根の玄関口』

国内外から訪れる多くの観光客にやさしく、人々が安心して集うことのできる国際観光地「箱根」の玄関口にふさわしい、おもてなしの心にあふれる地域づくりを進めます。また、本町における中心商業・業務地であり重要拠点としての役割を担っていることから、多様化、高度化する町民や観光客の消費・サービス需要に対応できる地域づくりを目指します。

そして、町民の生活利便に資する適正かつ有効な都市基盤整備や子育て支援体制の充実などを引き続き進めることで、満足度の高い良好な住居環境の維持増進を図るとともに、地域を流れる清流等の地域資源や湯のまちとしての賑わいを生かし、多くの人々が交流する活気に満ちた地域づくりを目指します。

## 都市基盤整備

### 道路

- 小田原箱根道路湯本山崎オフランプ\*1と周辺町道などの供用を開始し、本地域の更なる交通利便性の向上と良好な住居環境の確保を図ります。
- 現国道1号沿道の安全確保と活性化を図るため、小田原箱根道路への交通の転換状況をみながら、現国道1号の再整備を促進します。
- 町民と観光客の安全確保と利便性に資する町道整備を進めます。

### 下水道・河川

- 山崎地区を中心に第3号公共下水道整備を進め、地域の住居環境の増進と河川浄化を図ります。
- 地域資源である清流に親しむことのできるように、早川の護岸整備を促進します。

### 水道

- 塔之澤地区における町営水道の未給水区域について、地域住民の意向と採算性を考慮しながら整備を図ります。



早川親水護岸

## 景観形成

- 箱根の東の玄関口にふさわしい賑わいのある街なみ景観の形成に努めます。



出山鉄橋

## その他

### 観光

- 国内外から訪れる多くの観光客が安心して集うことができるように、観光案内所の充実やハイキングコース指導標の多言語化などを図ります。

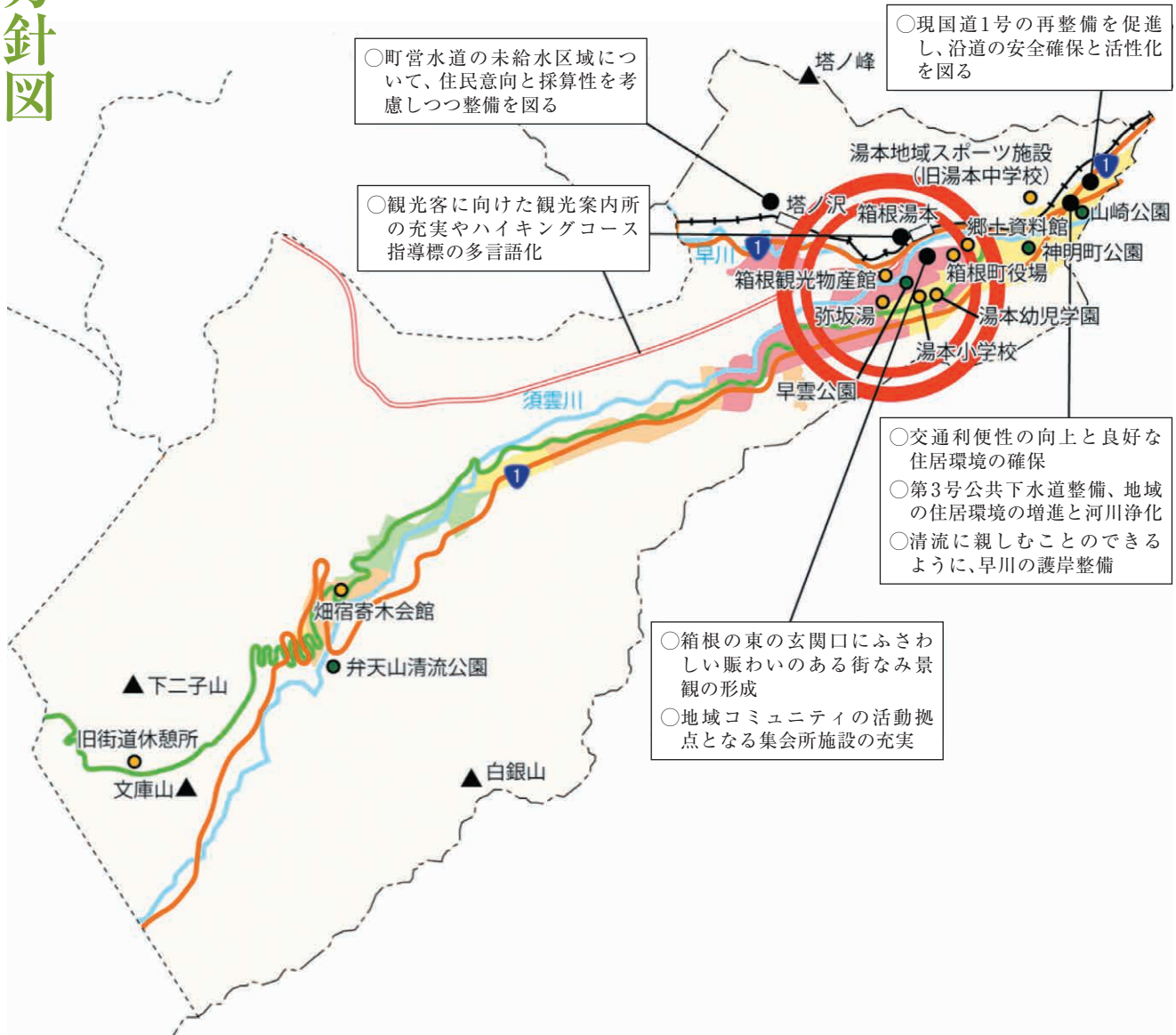
### 地域コミュニティ

- 自治会などの地域コミュニティの活動拠点となる集会所施設の充実を推進します。



箱根旧街道

# 方針図



〈地域全体に関する施策〉  
○町民と観光客の安全確保と利便性に資する町道整備



第1章 箱根町が目指す  
都市づくり

第2章 町全体に共通する  
都市づくり(全体構想)

第3章 地域ごとの都市づくり  
(地域別構想)

第4章 町民を主体とした  
都市づくりの実現に向けて

第5章 箱根町はどんなまち

第6章 都市づくりの町民のおもい

資料



# 温泉地域

- ・大平台
- ・宮ノ下
- ・小涌谷 地区



## 温泉地域の将来の姿とはどういったものでしょう。

**現** 本地域は、湯本地域、宮城野地域および箱根地域の結東部にあたる地域であり、国道1号と国道138号が交差し、道路交通の要衝となっている宮ノ下交差点を中心として、3つの特性の異なる温泉保養地から構成されています。

市街地は、早川の溪谷沿いに形成されており、歴史的な重要建造物のリゾートホテルを中心に高級避暑地として発展してきた宮ノ下地区、静寂に包まれた水の里で良質な温泉地である大平台地区、別荘や宿泊施設が数多く点在し、豊かな緑の中の保養地である小涌谷地区があります。

いずれの地区にも箱根登山鉄道の駅があり、交通の利便性は良好で、登山電車のスイッチバックの光景、しだれ桜やアジサイの花、色とりどりの溪谷の景色など、町民と観光客が多彩な景観を楽しむことのできる地域となっています。

**課題** 社会経済情勢の変化による宿泊施設の閉鎖や高齢化による後継者不足といった問題が、温泉保養地の活力を低下させています。また、人口減少に伴う空き家の増加による街なみ景観の悪化や防犯への対策が必要となっています。

宮ノ下交差点における渋滞は、分散傾向にあるものの、交通の要衝であるがゆえに休日や行楽シーズンには依然として発生しやすい状況となっています。また、狭い生活道路は、散策に向けた路地文化を育む一方で、避難路の確保や住宅建築の際の接道要件などが課題となっています。

坂道が多い地域のため、ユニバーサルデザインを取り入れた、高齢者や子どもなどすべての人にやさしく快適な歩行空間の整備が求められています。



千条の滝の新緑

## 将来像

# 『近代日本の歴史が薫る 水と緑の温泉保養地』

豊かな自然や近代日本の歴史が薫る、各々の個性的な街なみにふさわしい景観の形成を図るとともに、本地域特有の路地文化などを生かしながら、町民や国内外から訪れる多くの観光客が交流し、温泉保養地としての活力に満ちた地域づくりに努めます。

また、緑の中の静寂に包まれた良好な住居環境と歩行空間の確保を図るとともに、ハイキングコースなどの整備を進め、人々が自然に親しむことのできる環境の維持に努めるなど、歩く文化が生み出す落ち着いた時間と空間を享受し、人々の心なごむ地域づくりを目指します。

# 主要な施策の方針

## 都市基盤整備

### 道路

- 本町の道路交通の要衝であり、自動車の通行が集中する宮ノ下交差点の改良と渋滞緩和を促進します。
- 町民と観光客の安全確保と利便性に資する町道整備を進めます。
- 道路後退用地整備事業の推進などにより、狭あい道路の拡幅整備を図ります。



大平台のしだれ桜

### 下水道

- 第1号公共下水道整備を一部地域において引き続き進め、地域の住居環境の増進と河川浄化を図ります。



太閤の石風呂

## 景観形成

- 近代日本の歴史を偲ぶことのできる個性的な街なみにふさわしい景観の形成を図ります。



宮ノ下付近

## その他

### 自然探勝路

- 豊かな自然に親しむことのできる浅間山ハイキングコースなどの維持整備を進めます。

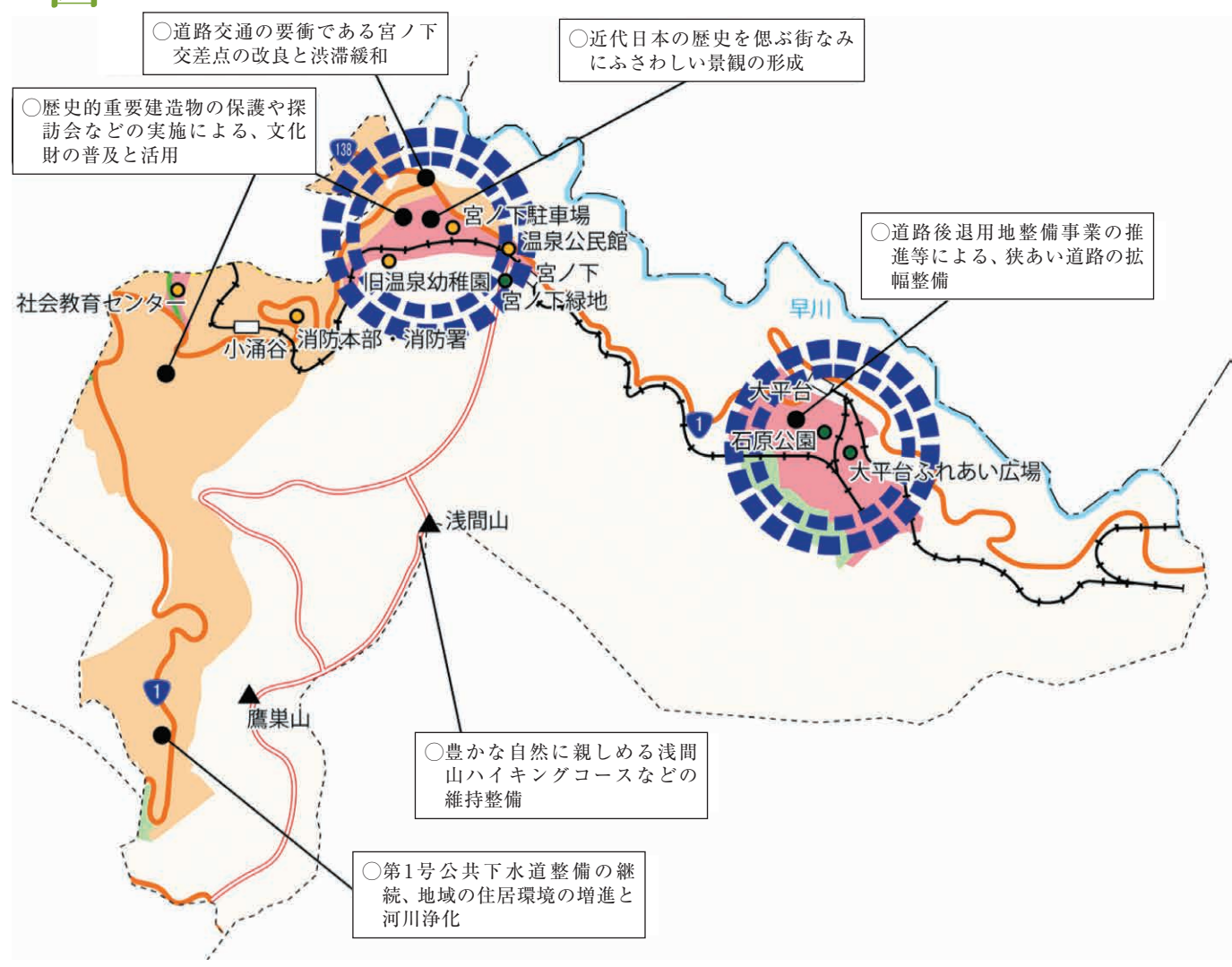
### 文化財

- 箱根の近代化に関わる歴史的重要建造物の保護や探訪会などを実施し、文化財の普及と活用を図ります。

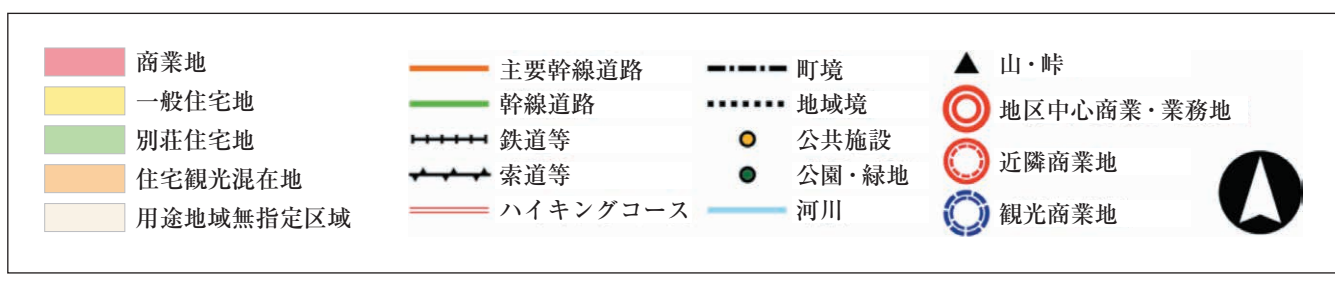


菊華荘

# 方針図



〈地域全体に関する施策〉  
○町民と観光客の安全確保と利便性に資する町道整備



# 宮城野地域

- ・宮城野
- ・強羅
- ・二ノ平 地区



## 宮城野地域の将来の姿とはどのようなものでしょう。

### 現 状

本地域は、本町のほぼ中央部に位置しており、土地の高低差が大きく、早川沿いから箱根外輪山（明神、明星ヶ岳）南麓にかけての住宅市街地を中心とした宮城野地区、整然と落ち着いた温泉保養地で良好な交通環境から箱根観光の要衝として発展してきた強羅地区、住宅と文教施設や観光施設が混在するかたちで良好な住居環境が形成された二ノ平地区といった各々に特色のある3つの地区から構成されています。

また、桜や梅をはじめとする四季折々の花、夏のホタルや秋の紅葉、噴気活動がみられる早雲山などの豊かな自然環境や90年を超える歴史を持つ大文字焼等の伝統行事を有し、多様な泉質の温泉とともに多くの人々を魅了する地域となっています。

### 課 題

3つの地区の間には、土地の高低差や距離があることから地域としての一体感が希薄であり、地区間の連携が十分に機能していない面があるとともに、災害などの発生時には各地区が孤立化してしまうおそれがあります。

また、地区間を結ぶ狭あいな幹線道路はバスの往来などに支障があるとともに、観光客の回遊性や歩行者の安全確保等が課題となっています。

なお、住宅市街地としての土地利用が進む宮城野地区は、公共交通の利便性の向上など満足度の高い住居環境が求められるとともに、他地区に比べ観光的な特色が少ないがゆえに通過点となることが多いことから、地域資源を生かした観光振興の促進が必要となっています。



早川堤の桜

## 将来像

# 『多彩な自然と豊かな泉質 心を満たす緑風の里』

各地区の特色を生かしながら、地域内の回遊性や連携を促進することで、一体感のある地域を目指します。宮城野地区については、満足度の高い住居環境の整備を図るとともに、豊かな自然環境を生かした観光地づくりを模索し、強羅地区については、箱根観光の要衝としての交通環境の向上を進めるとともに、整然と落ち着いた温泉保養地としての環境維持を図り、二ノ平地区については、居住地と文教施設や観光施設が近接した優位性を生かすなど、住む人と訪れる人に満足される地域づくりに努めていきます。

## 都市基盤整備

### 道路・林道

- 地区間を結ぶ幹線道路の交通の円滑化、安全確保および地域内の回遊性や連携強化を図るため、拡幅整備を促進します。
- 町民と観光客の安全確保と利便性に資する町道整備を進めます。
- 地域の利便性向上や災害時の代替ルートとしての活用が望まれている足柄幹線林道の一般車通行規制緩和を促進します。



宮城野園地

### 公園・緑地

- 宮城野地区早川沿いのさくら並木の保全を図ります。

### 下水道

- 第1号公共下水道整備を引き続き進め、地域の住居環境の増進と河川浄化を図ります。

### 砂防

- 噴気活動が続く早雲山の土石流災害の防止を図るため、地すべり対策を促進します。
- 宮城野地区の良好な住居環境の保護を図るため、荒廃が進む瀬戸沢におけるえん堤<sup>\*1</sup>の整備を促進します。



大文字焼

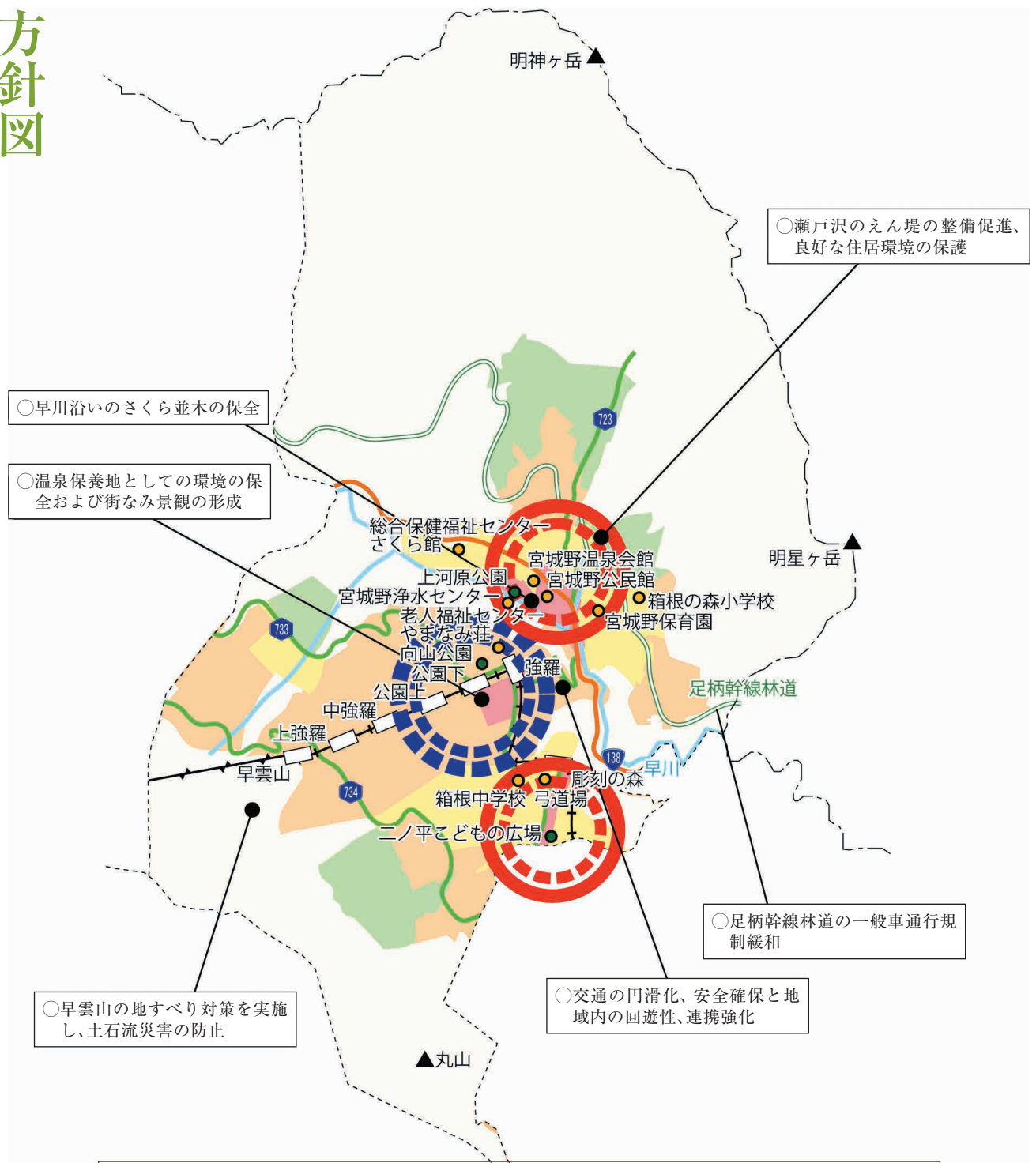
## 景観形成

- 強羅地区の整然と落ち着いた温泉保養地としての環境の保全および街なみ景観の形成を図ります。



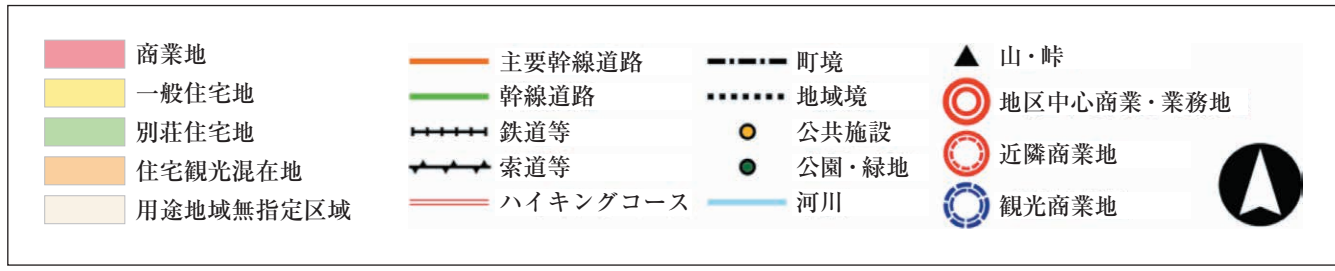
箱根美術館の紅葉

# 方針図



〈地域全体に関する施策〉

- 第1号公共下水道整備の継続、地域の住居環境の増進と河川浄化
- 町民と観光客の安全確保と利便性に資する町道整備





# 仙石原地域



## 仙石原地域の将来の姿とはどういったものでしょう。

**現** 本地域は、本町の北西部に位置しており、隣接する静岡県御殿場市とを結ぶ国道138号を經由し、東名高速道路へとつながる箱根の北の玄関口となっています。

**状** 豊かな自然環境のもとに、町内で最も広大な平坦地が広がっており、別荘や宿泊・保養施設、美術館などの観光施設、ゴルフ場等のスポーツ・レクリエーション施設が集積したリゾートを形成しているとともに、良好な住居環境により町内で最も多くの人口を有している地域です。

また、箱根の中央火口丘と外輪山に囲まれた火口原であることから高原情緒にあふれ、県内唯一の湿原である仙石原湿原や幻想的な景観の仙石原すすき草原、火山の息吹を伝える大涌谷やハイカーに人気を博す金時山など、多くの優れた自然資源を有した地域となっています。

**課** 地域内には、本町の都市活動を支える複数の幹線道路が配置され、主要な観光ルートとして交通量も多いことから、危険箇所の改良や歩道の設置、渋滞緩和への対応などが課題となっているとともに、観光面や災害発生時の対応のために、広域的なアクセス道路<sup>\*1</sup>の整備が急務となっています。

また、平坦で豊かな自然環境のもとに、公園や公共下水道などの都市基盤施設の整備を推進し、子育て世代にも適した遊び場の充実や河川浄化を図る等、さらに良好な住居環境を確保する必要があります。

こうした都市的土地利用や都市基盤整備においては、本地域固有の優れた自然資源への影響を極力小さくするよう努めることが求められています。



長安寺の紅葉

## 将来像

# 『四季の自然を楽しむ いこいの高原リゾート』

本町の北の玄関口としての機能拡充のため、新たに広域的なアクセス道路を整備することで、災害発生時の代替ルートの確保と観光振興をはじめとする地域活性化を図っていきます。また、豊かな自然環境や平坦な地形的特性を生かした良好な住居環境を確保するために、優れた自然資源への特段の配慮をしながら、適正かつ有効な都市基盤整備を進めていきます。

そして、住まう人々は雄大な自然を日々感じることで心豊かな生活を享受し、訪れる観光客は高原情緒を感じながら、豊かな自然環境や優れた芸術文化に親しむことで心癒えるような地域づくりを目指します。

## 自然環境保全

- 仙石原すすき草原や仙石原湿原など本地域固有の優れた自然資源の保全を図ります。

## 都市基盤整備

### 道路

- 県道75号すすき草原付近については、町民や多くの観光客が安全に散策できるよう、貴重な自然資源への影響に特段の配慮した歩道整備を促進します。
- 南足柄市と箱根町を連絡する広域的なアクセス道路を整備し、災害発生時の代替ルート確保と観光振興をはじめとする地域活性化を図ります。
- 災害発生時における広域連携や東名高速道路裾野ICからのアクセス道路としての活用などが期待される県道738号（仙石原新田）の整備を促進します。
- 町民と観光客の安全確保と利便性に資する町道整備を進めます。



すすき草原

### 公園

- 多くの人々の憩いの場となっている仙石原公園については、子どもの遊び場としての機能を強化し、親子で楽しむことのできる子育て環境の充実を図ります。

### 下水道・河川

- 第2号公共下水道整備を引き続き進め、地域の住居環境の増進と河川浄化を図ります。

### 砂防

- 火山活動が活発な大涌沢の土石流災害の防止を図るために、地すべり対策を引き続き促進します。

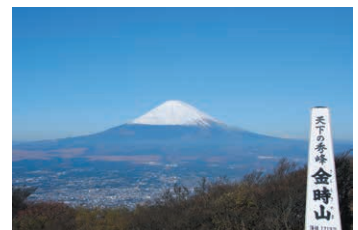
## 景観形成

- すすき草原をはじめとする優れた自然景観を保全するとともに、高原情緒あふれる落ち着いた街なみ景観の形成を図ります。

## その他

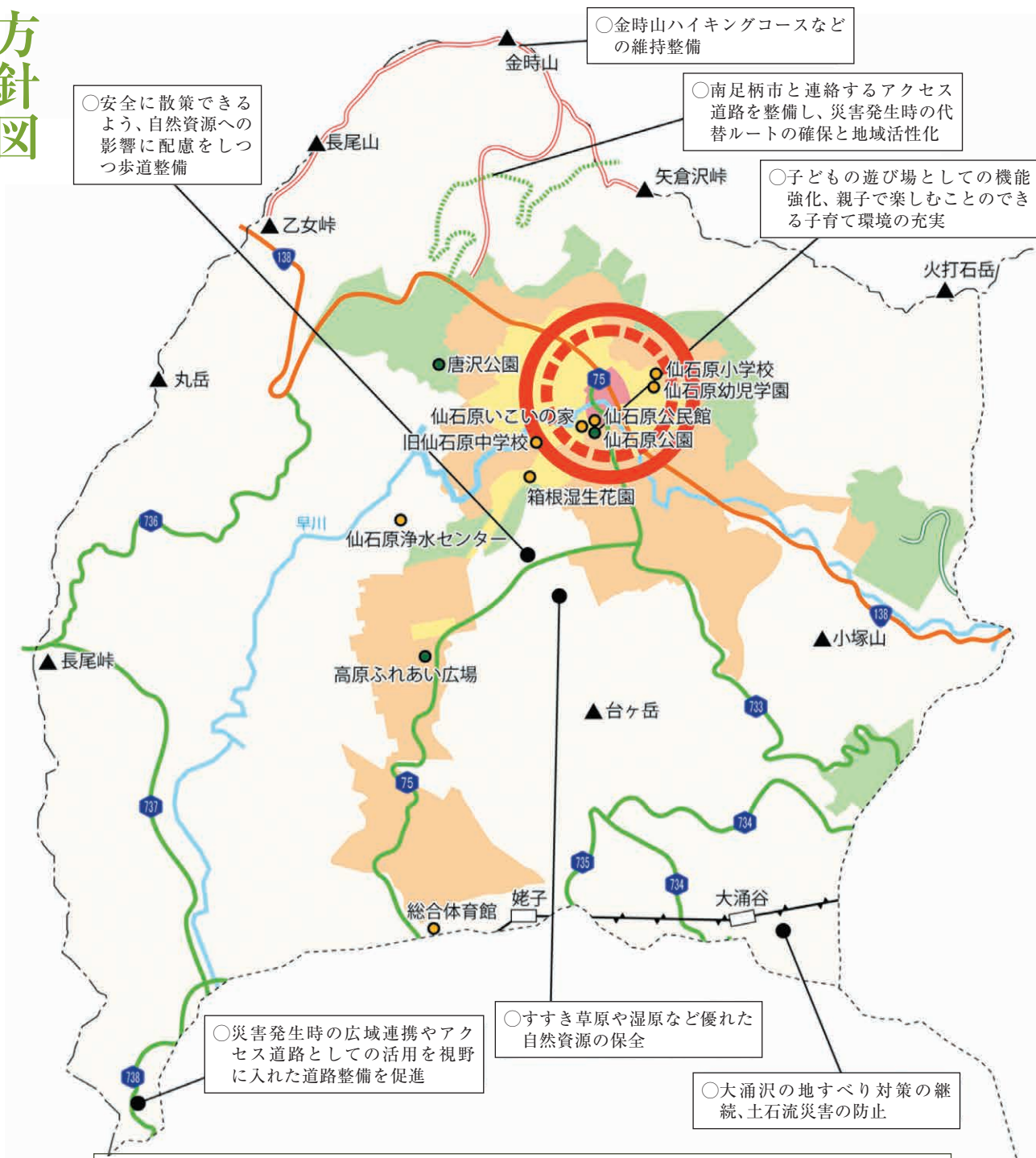
### 自然探勝路

- 豊かな自然に親しむことのできる金時山ハイキングコースなどの維持整備を進めます。



金時山からの富士山

# 方針図



○金時山ハイキングコースなどの維持整備

○南足柄市と連絡するアクセス道路を整備し、災害発生時の代替ルートの確保と地域活性化

○安全に散歩できるよう、自然資源への影響に配慮しつつ歩道整備

○子どもの遊び場としての機能強化、親子で楽しむことのできる子育て環境の充実

〈地域全体に関する施策〉

- 優れた自然景観の保全と、高原情緒あふれる落ち着いた街なみ景観の形成
- 第2号公共下水道整備の継続、地域の住居環境の増進と河川浄化
- 町民と観光客の安全確保と利便性に資する町道整備

商業地	主要幹線道路	町境	山・峠
一般住宅地	幹線道路	地域境	地区中心商業・業務地
別荘住宅地	鉄道等	公共施設	近隣商業地
住宅観光混在地	索道等	公園・緑地	観光商業地
用途地域無指定区域	ハイキングコース	河川	

# 箱根地域

- ・元箱根
- ・箱根
- ・芦之湯 地区



## 箱根地域の将来の姿とはどういったものでしょう。

**現** 本地域は、本町の南西部に位置し、富士を映す名鏡芦ノ湖や美しい山なみを中心とした四季折々の優れた自然景観を有し、日本を代表する自然の風景地の一つとして、箱根観光の一大拠点となっています。

**状** 市街地は国道1号と芦ノ湖畔に沿って形成されており、箱根神社の門前町として栄えた元箱根地区、東海道の宿場町として発展してきた箱根地区、古くからの湯治場である芦之湯地区にて構成され、今も昔も多くの人々が集い、交流する地域となっています。

また、中世の地蔵信仰を物語る石仏群、江戸時代の文人墨客が集った東光庵、東海道の要衝であった箱根関所と旧街道杉並木や石畳などの歴史的文化遺産は、往時の風情を偲ばせながら背景に広がる自然景観とともに多くの人々を魅了しており、本地域の重要な要素となっています。

さらに、今日においては東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)の往路ゴール

地として知名度を高めたり、芦之湯温泉が国民温泉保養地として県内第1号の指定を受けるなど多彩な資源を有した地域となっています。

**課** 国際観光地「箱根」を象徴する優れた自然景観と多数の歴史的文化遺産を有する地域です。地勢的には町内で最も標高が高く、他地域と比較して生活利便性に格差があることは否めず、特に冬季の凍雪害に対する道路交通網や歩行空間の確保などといった自然災害への対策が必要となっています。こうした住居環境の影響もあり、少子高齢化の進行がみられることから、地域活力や地域コミュニティの維持が課題となっています。

**題** また、観光客の滞在時間の短時間化といった問題へ対応するために、地域内の回遊性の確保やより一層の地域資源を生かした都市づくりが求められています。



箱根関所と芦ノ湖

## 将来像

# 『歴史と伝統文化が息づく 湖畔の交流空間』

本地域固有の優れた自然景観や歴史的文化遺産などの地域資源を有効に活用するために、門前町、宿場町、湯治場として発展してきた各々の歴史的背景に応じた街なみ景観の形成を図るとともに、地域内の回遊性を高めることで、箱根観光の拠点としての魅力を深め、地域活力の増進に努めていきます。

また、自然環境の保全と住居環境の向上を図るための公共下水道整備、地域における交通利便性を確保するための道路整備や冬季における凍雪害対策を重点的に行うなど、住まう人と訪れる人が安心して集い、安らげる地域づくりを目指します。

# 主要な施策の方針

## 都市基盤整備

### 道路

- 凍雪害対策強化のために芦之湯基地の整備を促進します。
- 町民と観光客の安全確保と利便性に資する町道整備を進めます。

### 下水道

- 第2号公共下水道整備を引き続き進め、地域の住居環境の増進と芦ノ湖の水質環境保全を図ります。

### 温泉

- 地域の温泉需要に応える町営温泉の安定供給を図ります。



芦ノ湖畔 (元箱根湾)



箱根旧街道杉並木

## 景観形成

- 門前町や宿場町としての歴史を生かした街なみ景観の形成を図ります。

## その他

### 地域資源活用

- 阿字ヶ池を含めた周辺整備を行うことにより、地域資源を生かした芦之湯地区の活性化を図ります。

### 自然探勝・歴史探訪

- 往時の風情を偲ぶことのできる箱根旧街道石畳ハイキングコースなどの維持整備を進めます。

### 文化財保護・有効活用

- 江戸時代の東海道の面影を残す国指定史跡箱根旧街道杉並木の保護を図ります。
- 鎌倉古道などの既存の散策路を生かして地域内の回遊性を高めることにより、各地区固有の歴史的文化遺産の有効活用と地域活性化を図ります。

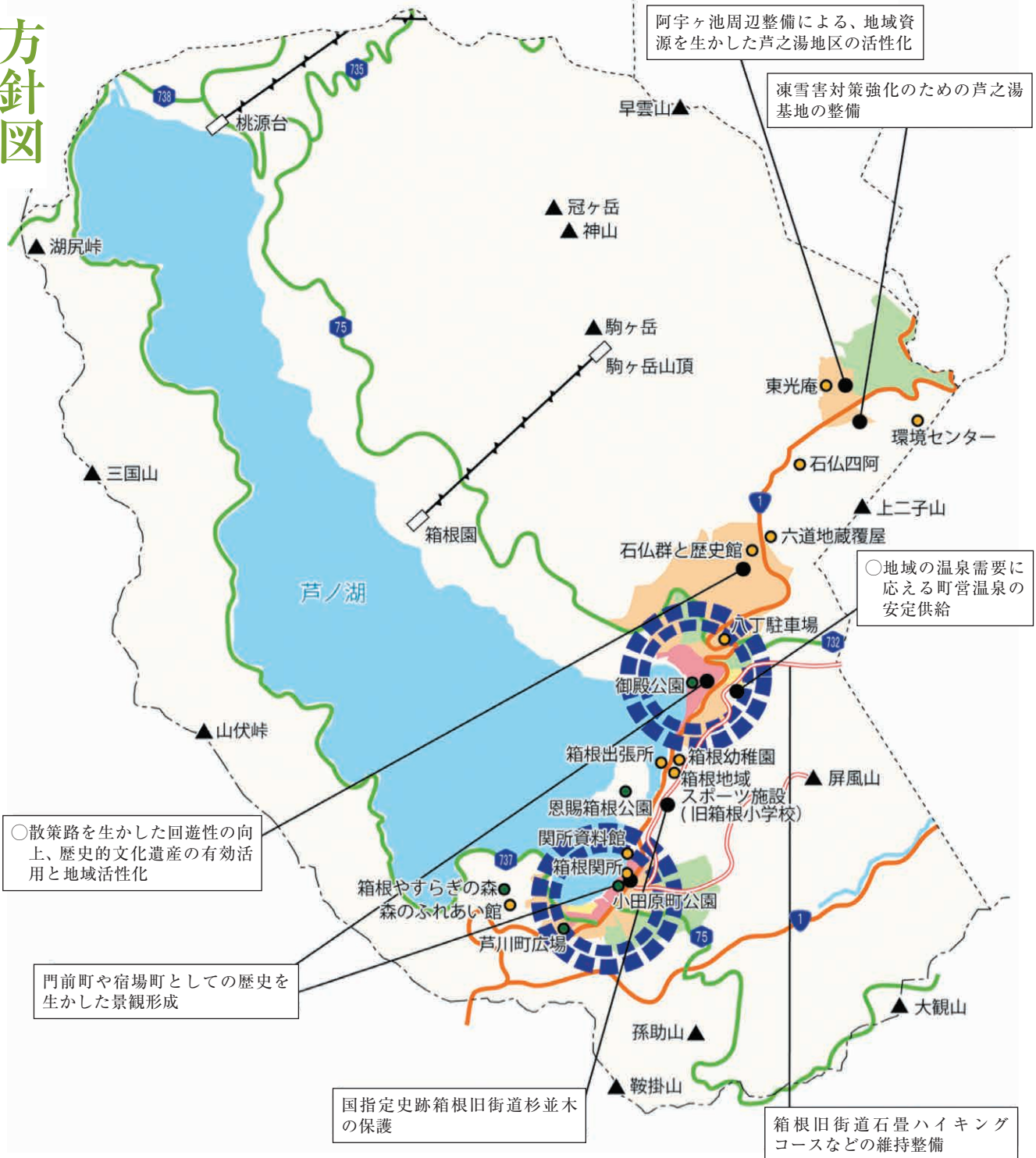


六道地藏



箱根神社

# 方針図



〈地域全体に関する施策〉

- 第2号公共下水道整備の継続、地域の住居環境の増進と芦ノ湖の水質環境保全
- 町民と観光客の安全確保と利便性に資する町道整備

商業地	主要幹線道路	町境	山・峠
一般住宅地	幹線道路	地域境	地区中心商業・業務地
別荘住宅地	鉄道等	公共施設	近隣商業地
住宅観光混在地	索道等	公園・緑地	観光商業地
用途地域無指定区域	ハイキングコース	河川	



## 第3章のまとめ

地域別構想を地域のあるべき将来像を実現するための「みちしるべ」とし、町内5地域毎に将来像を掲げました。

これらの将来像を具現化するため、都市基盤整備、自然環境保全、景観形成などの観点から施策展開を図ります。

### 1

#### 地域別構想の役割と 地域づくりの考え方

地域別構想は、各地域がもつ固有の風土や歴史文化などの資源を生かし、地域のあるべき将来像を実現するための「みちしるべ」となるものです。

町民が主体的に策定作業に取り組むことで、町民主体の地域づくりの推進と町との協働による地域づくりの下地づくりに努めました。

### 2

#### 湯本地域の将来像

将来像 『清流と湯のまち  
心あふれる箱根の玄関口』

- ①「箱根」の玄関口にふさわしい、おもてなしの心にあふれる地域づくりを進めます。
- ②中心商業・業務地の重要拠点としての地域づくりを目指します。
- ③地域資源などを生かし、交流と活気に満ちた地域づくりを目指します。

### 3

#### 温泉地域の将来像

将来像 『近代日本の歴史が薫る  
水と緑の温泉保養地』

- ①自然や近代日本の歴史など、個性豊かな街なみにふさわしい景観形成を図ります。
- ②路地文化などを生かし町民・観光客が交流した温泉保養地として地域づくりを進めます。
- ③落ち着いた時間と空間を享受し、心なごむ地域づくりを目指します。

### 4

#### 宮城野地域の将来像

将来像 『多彩な自然と豊かな泉質  
心を満たす緑風の里』

- ①各地区の特性を生かし、地域内の回遊性や連携を促進し、一体感のある地域を目指します。
- ②【宮城野】満足度の高い住環境の整備、豊かな自然環境を生かした観光地づくり
- ③【強羅】交通環境の向上、温泉保養地としての維持
- ④【二ノ平】近接する居住地、文教・観光施設などによる、住んで・訪れて満たされる地域づくり

### 5

#### 仙石原地域の将来像

将来像 『四季の自然を楽しむ  
いこいの高原リゾート』

- ①災害対応、観光振興の観点から広域アクセス道路を整備します。
- ②自然資源に配慮し、適正かつ効果的な都市基盤整備を進めます。
- ③豊かな自然環境、優れた芸術文化に親しみ心癒える地域づくりを目指します。

### 6

#### 箱根地域の将来像

将来像 『歴史と伝統文化が息づく  
湖畔の交流空間』

- ①門前町、宿場町、湯治場の歴史的背景に応じた街なみ景観を形成します。
- ②地域内の回遊性を高めることで、箱根観光の拠点として魅力を深め地域活力を増進します。
- ③住まう人、訪れる人が安心して集い、安らげる地域づくりを目指します。

